



# みどりの風



令和7年5月26日発行

## 「感謝の返礼」

校長 塩津 一弘

新年度がはじまり、まもなく2ヵ月が経とうとしています。登校の様子や授業そして部活動等を見ると1年生もすっかり学校生活に慣れ、全校が活気に満ちあふれていることを嬉しく思います。

さて、先日の全校朝会では、「感謝」について、感謝の思いをあいさつをとおして生徒とともに考えてみました。本校生徒のあいさつについての私の第一印象は、さわやかでとても素晴らしく、自分から進んであいさつをする様子からは、良き伝統が引き継がれるとともに家庭や地域での指導が行き届いてているなど感心することでもありました。

私の話の中で、生徒会本部役員にモデルとして、実際に普段のあいさつ（歩きながら元気よく）とあいさつをするために立ち止まって、相手より先にあいさつをする「先手あいさつ」、そして相手があいさつを返してくれたことに感謝し、礼を返す「感謝の返礼」を行ってもらいました。その後、全校生徒でお互いに感謝の返礼を少し行ったところで、全校朝会は終了。

何よりも嬉しかったのが、多くの生徒が、翌朝から登校時のあいさつや校内で出会ったときに、わざわざ立ち止まってあいさつをしたり、さらには、引き戻って再度やり直したり、感謝の返礼までしてくれたり、本校の生徒は改めて素直でいい子だなとありがたく思うことでした。

学校のみならず普段の生活においても、これまでもできていたあいさつに「感謝の返礼」を付け加えることで、さらに「愛され 応援される重富中」つなぎたいと考えます。引き続き、保護者、地域の皆様のあたたかい励ましをよろしくお願いいたします。



## 総合的な学習の時間（探究学習）スタート

5月1日(木)に1年生で探究学習についての学習が行われました。今年度「地域をつなぐ」をテーマに、始良市だけに限らず鹿児島県の自然や文化、環境等の現状や問題点について考えることを探究課題として学習を始めます。この日は、国分高校の神園先生と生徒4名（うち3名は卒業生）にお越しいただき、1年生を対象に「探究学習の取り組み方」についての講義がありました。国分高校の生徒が実際に取り組んでいる研究について、生徒自身にプレゼンテーションをしていただきました。テーマは、「学校給食のアレルギ除去食改善に向けて」と「河川・海水中の窒素濃度測定器の開発」というとても難しい内容でした。しかし、高校生がわかりやすく説明してくださり、1年生も熱心に聞いていました。6月27日(金)が1年生の成果発表の日です。研究発表会には、また国分高校の先生と生徒のみなさんをお招きして、講評をいただく予定です。充実した探究学習になるように頑張っていきましょう！この学習を通して、新たな発見や気づきにつながる学習にしていってください。

